教師用発問サポート資料

1　使用するプリント　コク×スク　レベル 2-4　具体と抽象、意見と根拠の関係を理解する

2　単元の目標

(1) 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)ア

(2) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い，結論を導くために考えをまとめることができる。

〔思考力，判断力，表現力等〕A 話すこと・聞くこと(1)オ

3　学習の流れ

【①導入】

1）　学習内容を確認し、学習の見通しを立てる。

＜学習内容＞意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解する。

2）　意見と根拠、具体と抽象に関する今までの学習を想起する。

※コク×スク 1-4、2-2、2-3 で学んだことを思い出させる。

水族館やテーマパークに行くとき、どのようにスケジュールを立てるか悩んだことはありませんか？　今まで学習したことを生かして、一緒に考えてみましょう。

【②展開】

3）　個人で問題を解く（15 分程度）ことを通して、具体と抽象、意見と根拠の関係を理解する。

★机間指導を行い、必要に応じて助言をする。

〈問 1　助言の参考〉

話し合いにおいて、相手の発言の根拠を確かめることは重要ですね。「あなた」は、何を根拠にして――線部の発言をしたのでしょうか。

――線部の前に、「混雑情報を調べてみた」とあるので、「混雑予想カレンダー」ですね。

そうですね。「混雑予想カレンダー」の中で、水族館に行く予定の日を確認して、問 1 から選んでみましょう。

3 日は「B」です。カレンダーの下の方をみると「B」は「混んでいます。」とあるから……。

〈問 2　助言の参考〉

相手の伝えたいことを理解するためには、情報と情報の関係性を意識することが大切です。「爪を切る」と「動物を傷つけない格好をする」の関係性を考えてみましょう。

動物を傷つけない格好をする。「たとえば」爪を切る。とつながります。

その通り。具体と抽象の関係になっているということですね。選択肢の＿＿線部の関係についても考えてみましょう。

※解説の際には、イ・エが原因と結果の関係になっていることにもふれたい。

教師用発問サポート資料

〈問３　助言の参考〉

スケジュールを考えるにあたって、二人の希望を確認する必要がありますね。二人のしたいことは何でしょうか。二人会話のどの言葉に注目するとよいですか。

ふれあい体験、イルカショー、カフェで話す、15 時までに水族館を出る　です。

そうですね。では、「イベントスケジュール」を見ながら順番を考えてみましょう。
その後、なぜその順番にしたのか理由も書きましょう。

【③まとめ】

４）　学習した内容を振り返る。

今日は、意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について考えてきました。この学習を通して、どのような力が身についたでしょうか。また、日常生活のどのような場面で生かすことができるでしょうか。

意見の根拠や、情報同士のつながりを意識することで、相手の話をより理解できることがわかりました。

データを根拠にすることで、よりよい話し合いができることを知ったので、今後遊びに行くときや、授業の中でも生かしていきたいと思います。

情報と情報との関係について理解しながら話し合うことは、生活の様々な場面で活用することができます。今日学習したことを今後も授業や日常生活で使ってみましょう。

４　指導のポイント

○**【①導入】**では、具体的なテーマパークを想起させ、どのようなプランを立てるかを話し合わせてもよい。その際に、何を根拠にプランを決めるかについて意識させることが重要である。また、特に問３については、生徒同士で「なぜそのように書いたのか」を説明し合い、理解を深められるようにするとよい。

５　ほかに考えられる使用方法

○「コク×スク　レベル 2-4」を単元テストとして使用し、定着度を測るために使用することもできる。その際は、【②展開】だけを取り上げて 20 分程度の解説の時間を設けるとよい。また、授業展開例としては次のものが考えられる。

住んでいる地域を外国の方に案内するプランについて、根拠を明確にして話し合う

……時間や、「日本らしさ」を感じられるようにするなどの条件を示したうえで、個人で地域を案内するスケジュールを立てる。その後、グループで根拠を明確にしながら、よりよいプランに向けた話し合いを行う。その際、「日本らしさ」について具体的に考えるよう指導することで、生徒が具体と抽象について理解を深めることができる。